

耳鼻咽喉科学講座

A 欧 文

A-a

1. Y.Nakao, N.Sakihama, H.Kumagami: Vascular permeability changes associated with experimentally induced facial nerve lesions in the rabbit, Eur Arch Otorhinolaryngol, 252, 255-257 (1995) *
2. Y.Kanda, K.Shigeno, H.Matsuo, M.Yano, N.Yamada, H.Kumagami: Interferon-induced sudden hearing loss, Audiology, 34, 98-102 (1995) *

B 邦 文

B-a

1. 中尾善亮、崎浜教之、隈上秀伯：顔面神経束内における脈管外通路（第2報）—脳神経を介した通液路について—、Otol Jpn, 5, 1-4 (1995)
2. 塚崎尚紀、隈上秀伯：肥厚仮声帯の1例、耳鼻、41, 447-450 (1995)
3. 崎浜教之、中尾善亮、隈上秀伯：顔面神経変性後の結合組織と血管透過性の変化、Otol Jpn, 5, 124-126 (1995)
4. 高崎賢治、弦本日芳、吉見龍一郎、高村博光：鼻茸組織および鼻アレルギー下甲介粘膜における免疫組織学的検討、耳展、補3, 263-268 (1995)
5. 中島成人、隈上秀高、鬼塚哲郎、梅野祐芳：閉眼下頭部捻転時の一過性眼球偏位の分析、Equilibrium Res, 54, 332-337 (1995)
6. 山口隆：素潜り漁夫の耳管機能と側頭骨X線およびCT所見について、耳鼻、41, 726-734 (1995)
7. 隈上秀高：8年間経過を観察した若年性鼻咽腔血管線維腫、頭頸部外科、5, 127-133 (1995)
8. 梅野祐芳、中島成人、隈上秀高、鬼塚哲郎、田中藤信、隈上秀伯：65歳以上のめまい患者10年間の統計的観察(1984年～1993年)、Equilibrium Res, 54, 534-539 (1995)
9. 中尾善亮、崎浜教之、田渕富三、隈上秀伯：Hunt症候群における多発神経障害の検討、Facial N Res Jpn, 15, 207-210 (1995)
10. 崎浜教之、中尾善亮、田渕富三、隈上秀伯：顔面神経麻痺の予後診断における電気生理学的検査法の再検討、Facial N Res Jpn, 15, 223-226 (1995)

B-b

1. 吉見龍一郎：鼻粘膜における抗原提示細胞、日鼻誌、33, 367-368 (1995)
2. 中島成人：めまい・難聴、ケーススタディー [4]、耳喉頭頸、67, 363-367 (1995)
3. 中島成人：病気のない病人—現代医療の限界—、臨床看護、21, 1241-1243 (1995)
4. 中島成人：2つの外国語に見る医療現場—医療の挑戦とその谷間—、臨床看護、21, 1379-1381 (1995)
5. 中島成人：他科に役立つ耳鼻咽喉科の知識、月刊保団連、489, 65-68 (1995)

B-c

1. 中島成人、空閑祥造：術後性上顎(頬部)囊胞の手術、口腔外科学、佐々木元覽編、606-607、口腔保健協会 (1995)
2. 中島成人：蜗電図検査(ECOG)、「イラスト」めまいの検査、130-131、日本平衡神経科学会編、診断と治療社 (1995)

B-d

1. 山口隆：ティンパノメトリーを用いた園児滲出性中耳炎のスクリーニングについて—厳原町と長崎市での比較—、へき地医療の体験に基づく学術論文集、4, 87-92 全国自治体病院協議会 (1995)

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	S C I	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総 計
1995	2	0	0	0	2	2	10	5	2	1	18	20

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合 計	B-a	B-b		合 計	総 計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1995	0	0	0	0	0	1	20	21	21

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 (論文総数)	教官生産係数	S C I掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数
		(欧文論文)		(S C I掲載論文)
1995	0.100	0.250	1.000	0.250

Impact factor一覧

	Impact factor	1 教官当り Impact factor	論文当り Impact factor
1995	1.413	0.177	0.707